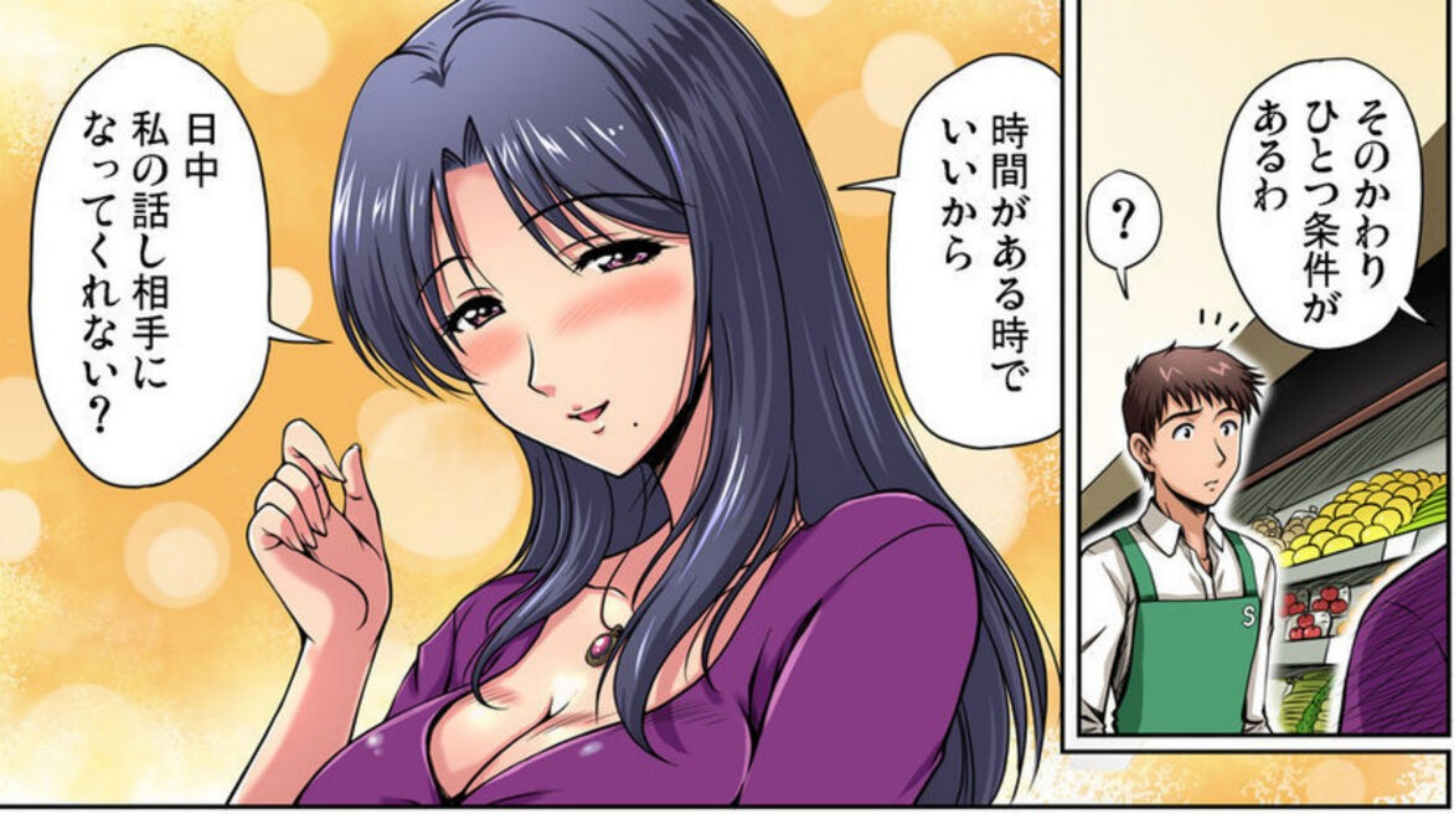

お隣さんは発情期
My neighbor is in the estrus period
1
揉まれて吸われてハメられて
ふぁんとむ


S SUPER
スーパー
ふぅ…
まいったなぁ
ガサゴソ
大輔くん
どうしたの？
あ
由季子さん
彼女は
島谷由季子さん
近所に住む
美人の若奥様だ


由季子さんは深夜 買い物に来ることが多く
深夜は客が少ないせいもあり俺たちは長話する機会も増え
今では親しい間柄になっていた
なにか悩み事？
ええ…それが
今 俺の住んでるアパートが来月更新なんですけど…
ここまで遠いし…それで引っ越しを考えているんですけどなかなかいいトコ見つからなくて…
あら？
それならうちのマンションの隣の部屋 単身用で丁度空いてるわよ
すぐソコよ
ははは
マンションなんて家賃高くて俺には無理ですよ
うふっ♥
実はね私たち夫婦ってそのマンション一棟の大家なのなんなら今大輔くんが払ってる家賃と同じ金額にしてあげてもいいわよ♥
ええっ!?
S
SUP


そのかわり
ひとつ条件が
あるわ
？
時間がある時で
いいから
日中
私の話し相手に
なってくれない？


子供のいない
専業主婦って
家にいても
結構寂しいのよ
実は時々
ここに来るのも
大輔くんとお話
したいから
なのよ
旦那が
寝てから
こっそりネ
そうなん
ですか？

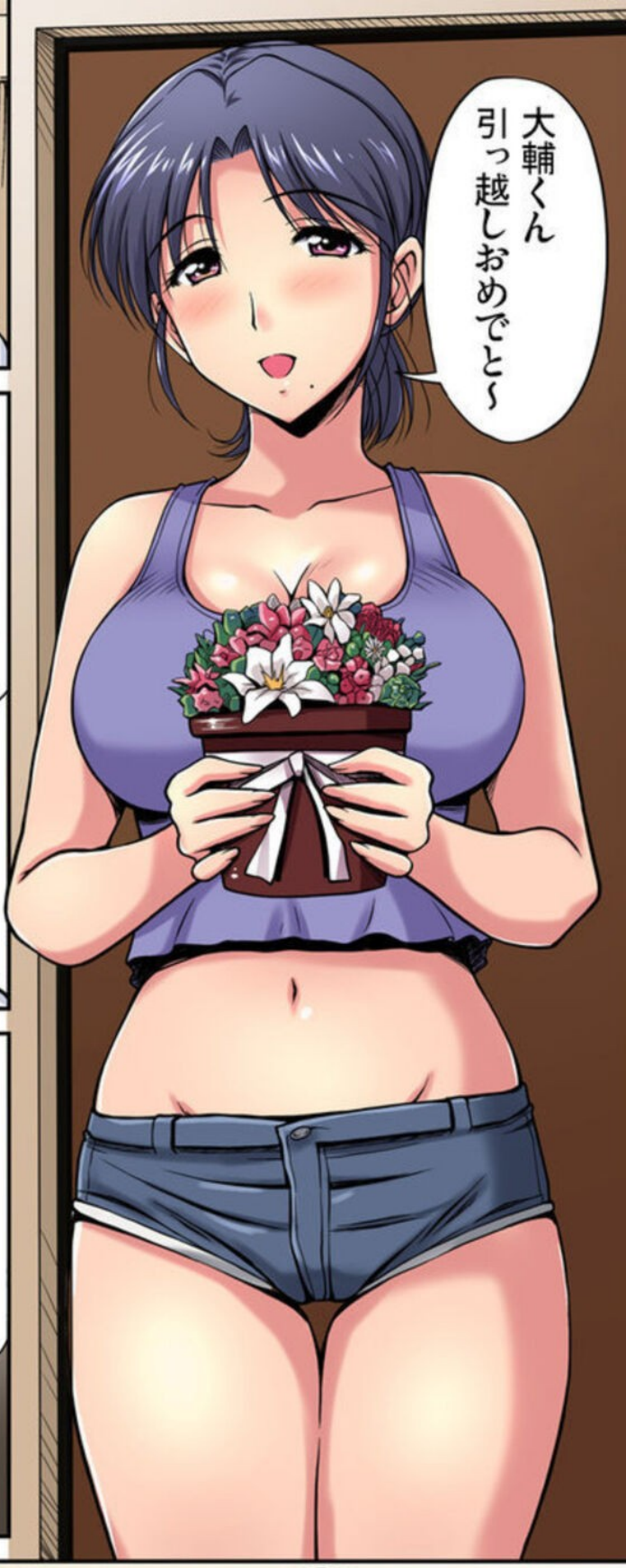

美人の由季子さんの
話し相手になるのが
条件だなんて…
こんな好条件の物件を
断る理由もなく
俺はすぐに引っ越し
することにした
ふぅ…これで
だいたい
片付いたかな
でも…
隣に由季子さんが
住んでるなんて…
なんかドキドキ
するなー
ラブっ♥
大輔く～ん…
話し相手だけじゃ
物足りなく
なっちゃった♥
おいおい
なんて妄想
してんだよ俺…
由季子さんは
人妻だぞ
ピンポーン
あ
はい


……
ビー…
え？
どうしたの？


あ…すみません
髪 縛ってる
由季子さん見るの
初めてだったから
つい
見とれちゃって…
やだ～
もー


あら…
お部屋の片付け
ほとんど終わってる
じゃない
お手伝い
しようと思って
来たのにー
そこで
俺たちは早速
「お話」を始めた




大輔くん
引っ越しおめでと～


いや
それはない
ですって
あはは


？
あの…俺の顔になにか付いてます？
あごめんなさい
大輔くん目が綺麗だなーと思って見とれてたのよ♥
はぁ
…♥
！
ガたんっ
だっ
大輔くんステキすぎて我慢するなんて無理っ♥
ハァハァ


私ね…
いつも大輔くんとお話した日は帰ってからいつもオ●ニーしてたの…
ハァハァ
お話してたらいつものクセで…なんか…興奮してきちゃった…
私の夫…20歳も年上で仕事人間なの…
それでもう私たち…3年もセックスレスなのよ…
ねぇ大輔くん…ここに住む条件だけど…私の話し相手になる…じゃなくて…
イッ
ええっ
私のセックスの相手をする…
はらり…
…じゃダメかしら？
ねえ？
は…はい
ごくっ


スッ
大輔くんは
じーっとしてて
いいのよ
大きい…
すー
すー
すー
ゆ…
由季子さん…
カリ
カリ
あ…
ごめんなさい
大輔くんの
立派だから
うれしくて
つい…
いえ…それ…
すごく気持ち
いいです…

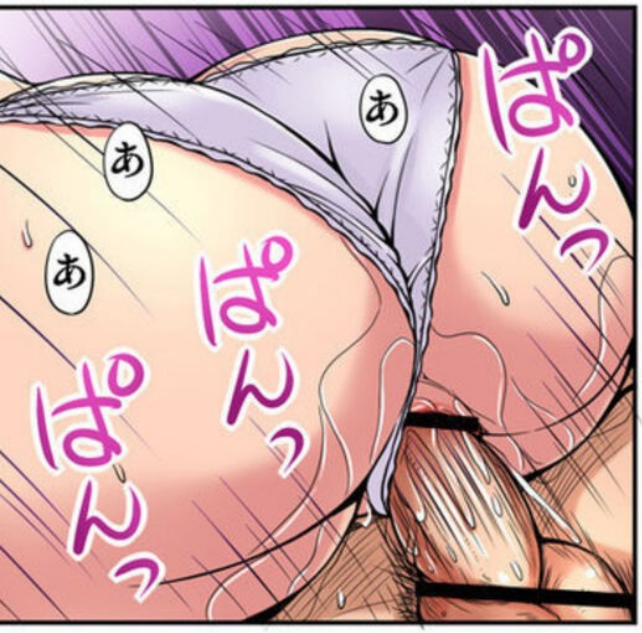

じゃあ
次はもっと
気持ち良くして
あげる
はむっ
はむっ
つつー
あむっ
すぽーっ
じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ
ゆ…由季子さん
すごい…
ハァ
ハァ
ん
ん
ん
ん


はい
うふっ
契約成立ね
ハァ
ハァ
ずぷっ
ずぷぷっ
どうする？
今なら
やめられるけど…
ハァ
ハァ
本当に
挿入れても
いい？
ビンビン
ハァ
ハァ
ああー…
すごい♥
この密着感…
いいわぁー♥
ハァ
ハァ
由季子さん
俺も…
ぴたっ
え？


うふっ
ちょっと
待ってね
えっ
今 私のアソコに
大輔くんの形
覚えさせてるから
ひくっ
ひくっ
……
…じゃあ
動かすわよ
うわっ
さっきより
すごいっ
ぬぷっ
ぬぷぷぷーっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ハァハァ
うふっ♥
今日から
私のココは
大輔くん専用よ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
はぁ
はぁ
はぁ


ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
由季子さん…
ダメだ…俺
すぐに出ちゃい
そうだよ
ハァ
ハァ
ハァ


だーめ
もう少し
我慢しなさい
これからが
本番なんだから
はぁ
はぁ…
ずぷっ
ずぷっ


ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あ
あ
あ


ああっ
気持ち良くて
腰の動き
止まらない♥
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ


由季子さん
で…出る…っ
いいのよ
私の中に
思いっきり
出しなさい
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ
じゅちゅ

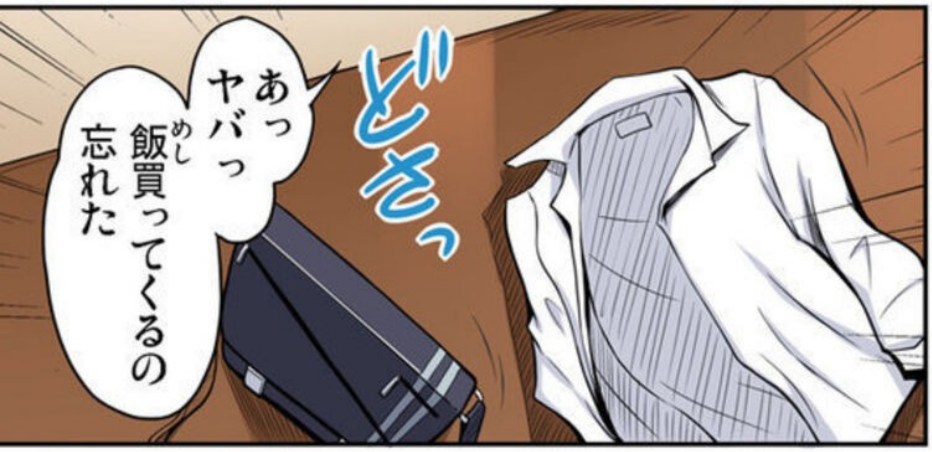

ああああ――っ
どぴゅ
どぴゅ
どぴゅ
どぴゅ
どぴゅ
はぁはぁ…
私も
イッちゃった♥
ガク
ガク
はぁ
はぁ
はぁ
あ…まだ
抜かないで
…
最後まで
搾り取って
あげるから…
ぴくん
ぴくん
ゴンぷっ
ゴンぷっ
す…ごい

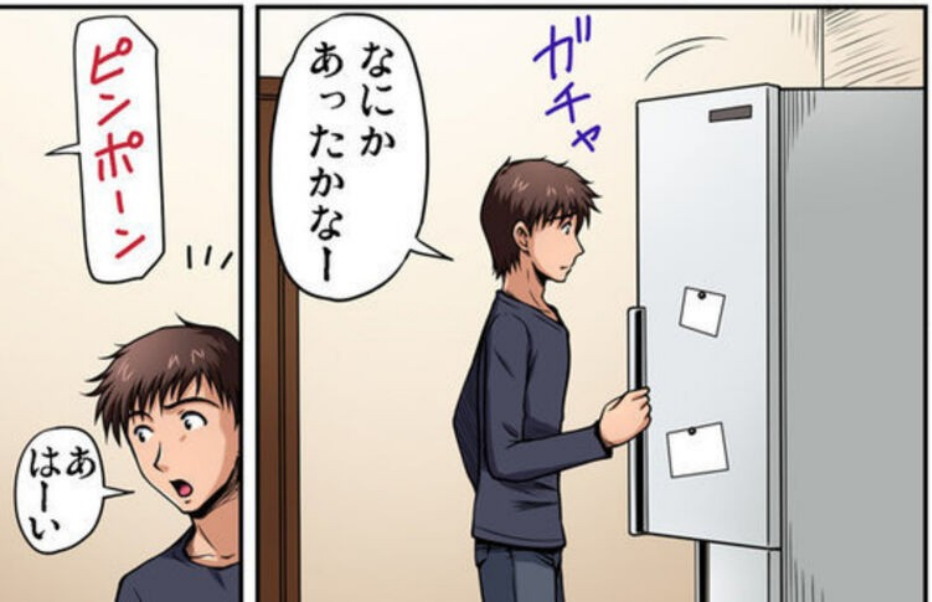


俺はそのあとバイトに行ったが…

由季子さんとのセックスのことばかり思い出しちっとも仕事に身が入らなかった…



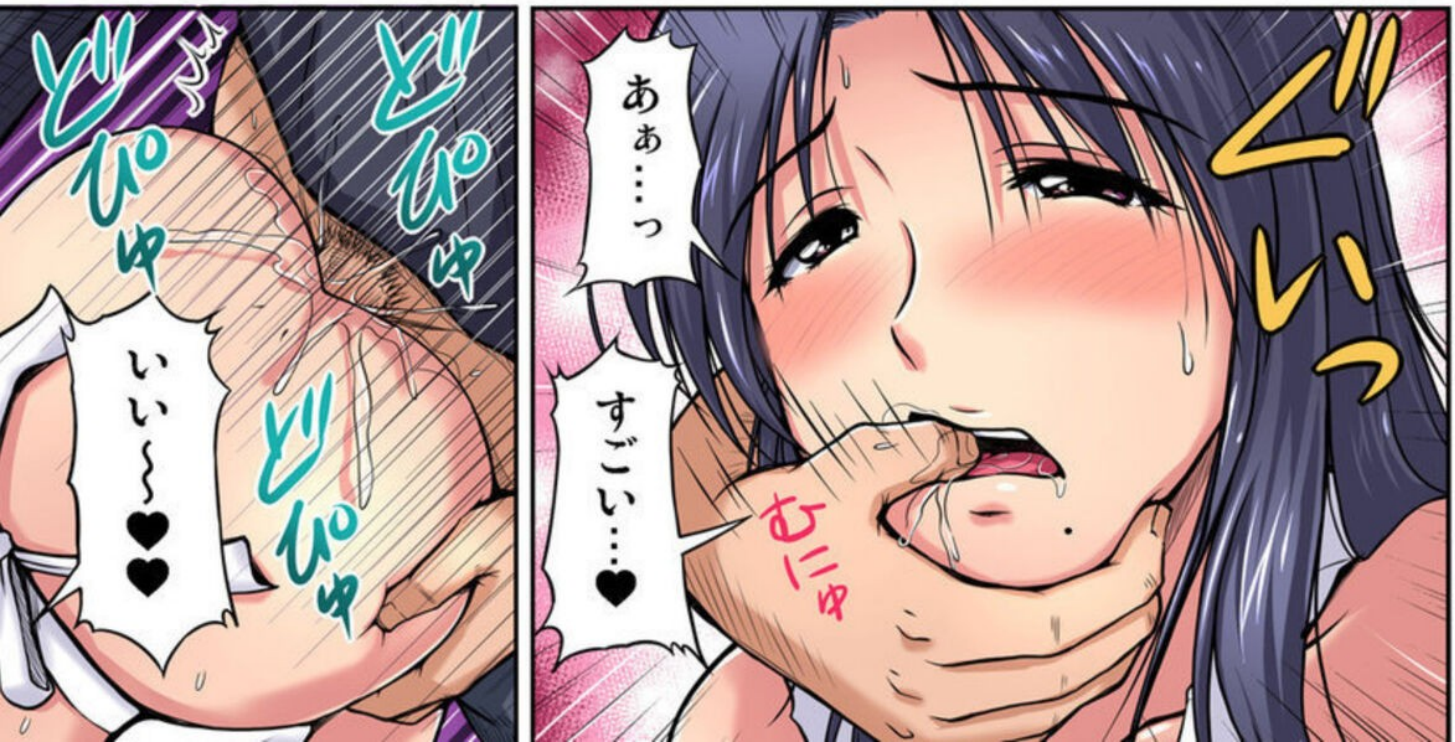





にこっ♥
お仕事ごくろうさま♥
ご飯…大輔くんの分も作ったんだけどどうかしら？
あっありがとうございます！
あ…
ん？
由季子さんのエプロン姿も…いいですね♥
も～
じゃあ…
ご飯の前にこの格好でする？


パン
パン
パン
パン
パン
パン
あ
あ
あ
あ
あ
あ
ガタ
ガタ

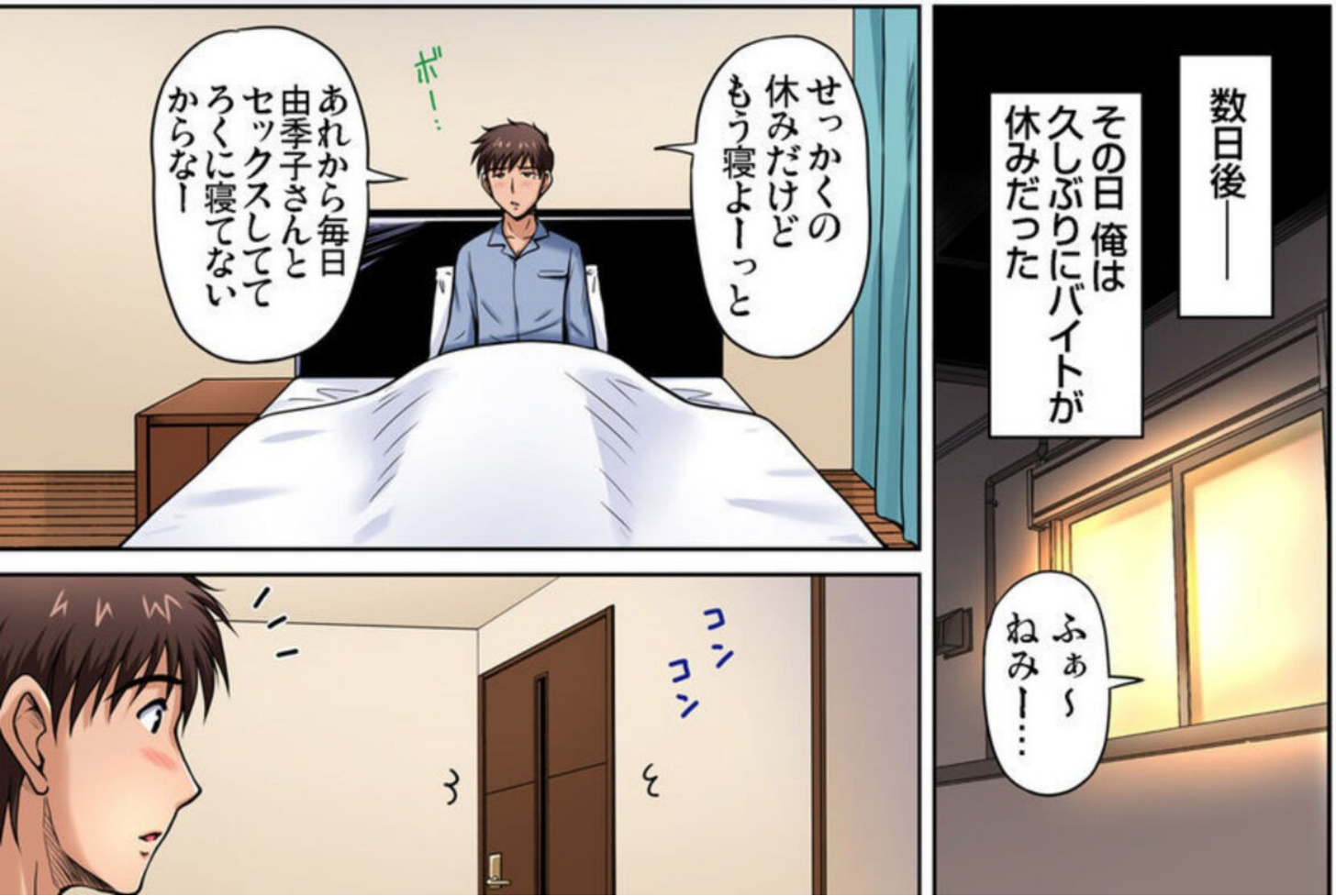

大輔くん…
お願いがあるの…
私の口に
指 入れて
もらえる？
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ハァ
ハァ
そうすると
前と後ろの両方を
犯されてるみたいで
すごく興奮するの♥


ぐいっ
むにゅ
あぁ…っ
すごい…♥
とぴゅ
とぴゅ
とぴゅ
いい～♥♥


食後 シャワーを浴びていると由季子さんが入ってきた
ザー
うふっ
じっとしてて私が身体で洗ってあげるから♥
むにゅむにゅ
シャー
ここは特に念入りに洗わないとネ♥
ぬぷぷっ
ゆ…由季子さん
あ♥
あ♥
ああン♥
ぬちゅぬちゅぬちゅぬちゅ
ああっダメッ大輔くんが動かしちゃダメよっ
ズイッ
ズチュズチュズチュ


はぁ
はぁ
はぁ
ハァ
私の出した条件…
こんなに守って
くれるなんて…
ハァ
やっぱり
大輔くんは
最高ね
ハァ
もう
家賃なんて
いらないわよ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ


俺の仕事は
夜勤だったので
旦那のいない日中が
俺と由季子さんの
過ごす時間になった
あ♥
あ♥
あ♥
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ


数日後——
その日 俺は
久しぶりにバイトが
休みだった
ふぁ～
ねみー…
せっかくの
休みだけど
もう寝よーっと
ボー…
あれから毎日
由季子さんと
セックスしてて
ろくに寝てない
からなー
コンコン


ガチャ
大輔くん
ゆ…
由季子さん！
あれ…？
どうやって？
私 ここの
大家なのよ
これ合鍵～
今日は夜なのに
大輔くん
めずらしく部屋に
いるじゃない
すっ


隣に
大輔くんがいると
思ったら…私…
我慢できなく
なっちゃった♥
ハァ
ハァ
夜は
部屋に旦那さん
いるんでしょ？
流石にマズイ
んじゃ…
そーよ
うちの寝室
その壁の向こう
なの
あまり大きな声
出したら旦那に
聞こえちゃうから
気をつけてね♥
ずらっ


ぬぎっ
この寝まき…
大輔くんに喜んで
もらおうとこっそり
買ったんだけど…
もうこんなに
汚しちゃった…♥
とろ～…
由季子さん…
エロすぎるよ
くるっ
そんなの
前から知ってる
でしょ
ごめんね…
今日…
すごい興奮して
我慢できないから
すぐに挿入れるわね
ハァ
ハァ
ぬぷっ

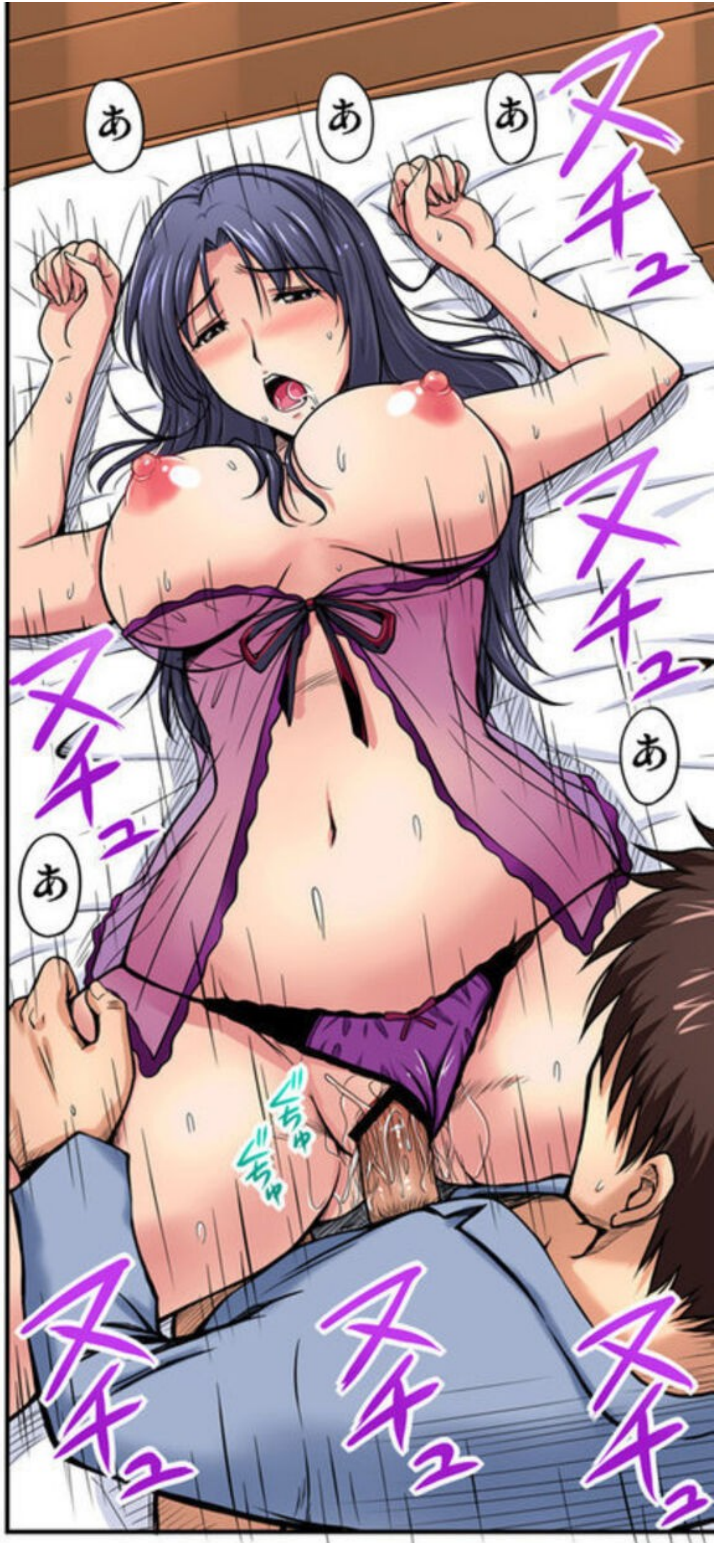

すごい…
挿入れただけで
イキ…そう…
びくっ
びくっ
びくっ
ぬぷっ
ぬぷぷーっ
ちょっと
待って…っ
今日…
感じすぎ…っ
ぎちっ
ぎちっ
ダメッ
大輔くん
ダメよっ
由季子…
そんな…激しく
されたら
すぐに…っ
パン
パン
パン
パン
パン

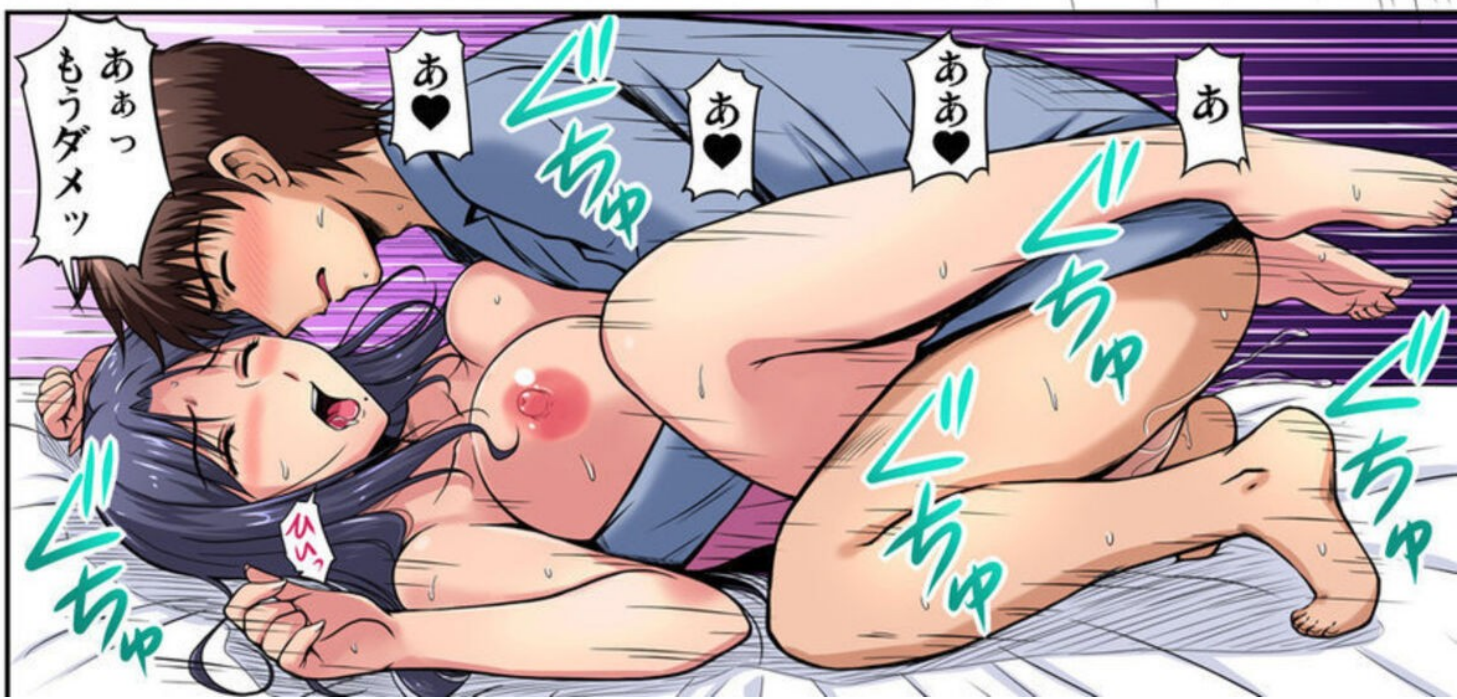

イク――ッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
はぁはぁはぁ
由季子さん
そんなに声出したら
マズいんじゃない？
旦那に聞こえるよ
ガクガク
だって気持ち
良すぎて…
由季子さん
俺はまだ
イッてませんよ
ハァハァ
そんな…
今イッたばかり
なのに…
ズプッ
由季子さん
こうされるの
好きなんだよね
んんっ！
ぐいっ
あ♥
あ…♥
由季子さん
感じすぎだよ
パンパンパン
むにゅ


由季子さん…
今日はどこに
出してほしい？
また中に…
中にお願いします
ハァ
ハァ
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ


じゃあ
次は俺より先に
イカないでね
はい…
くいっ


ひぃっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ


あ
あ
あ
あ
あ
メチュ
メチュ
メチュ
メチュ
メチュ
メチュ
ぐちゅ
ぐちゅ


あぁっ
もうダメッ
あ♥
あ♥
あ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ひぃっ


私…もうイ…ッ
ビクッ
ビクッ
びくっ
イクゥ――っっっっっ
とぴゅ
とぴゅ
とぴゅ
とぴゅ
とぴゅ
びくんっ
ぬぽっ
ビクン
ビクン
びゅる
びゅくっ
ぶるる…
びゅる
びゅっ
びゅっ
びゅっ


この後 俺たちは朝までセックスを続け――
チュン チュン
由季子さんは旦那が起きる前にこっそり部屋へ帰っていった


2時間後――
ガチャ
大輔くーん 旦那 会社に行ったから また来ちゃった～♥
うそ… まだするの？


そして そんな生活が 3カ月続き――
由季子さんは 前よりもいっそう 美しくなっていた


それに引きかえ 俺は……


ねぇキミ… 先週から バイトに来てる 山岸くんだよね？
あ はい


げっそり…
キミ…近いうちに引っ越す予定… ない？
すっかり やつれていた
センパイ… なんか疲れてますね

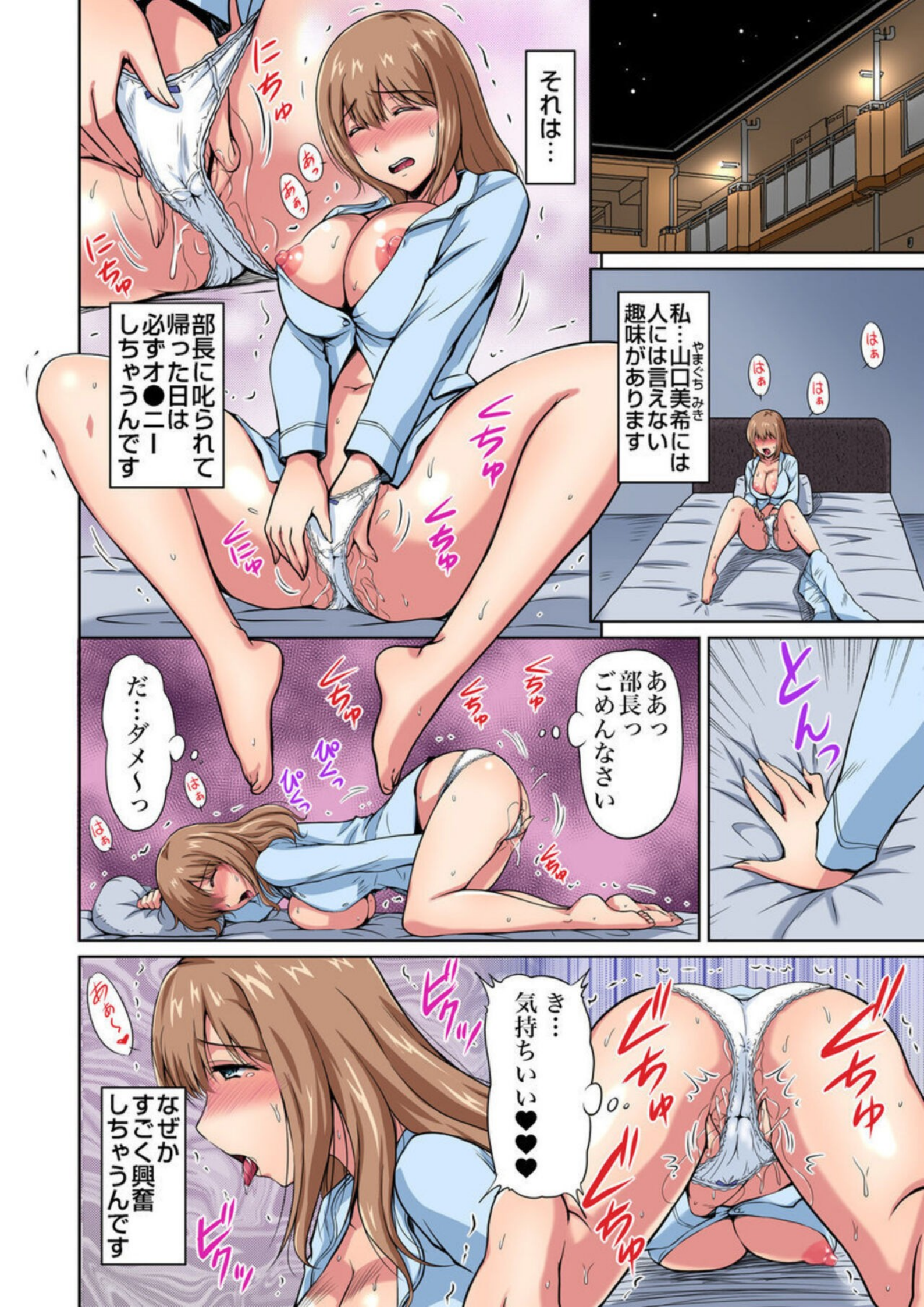
この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。

本作品の無断転載・複製を禁止します。

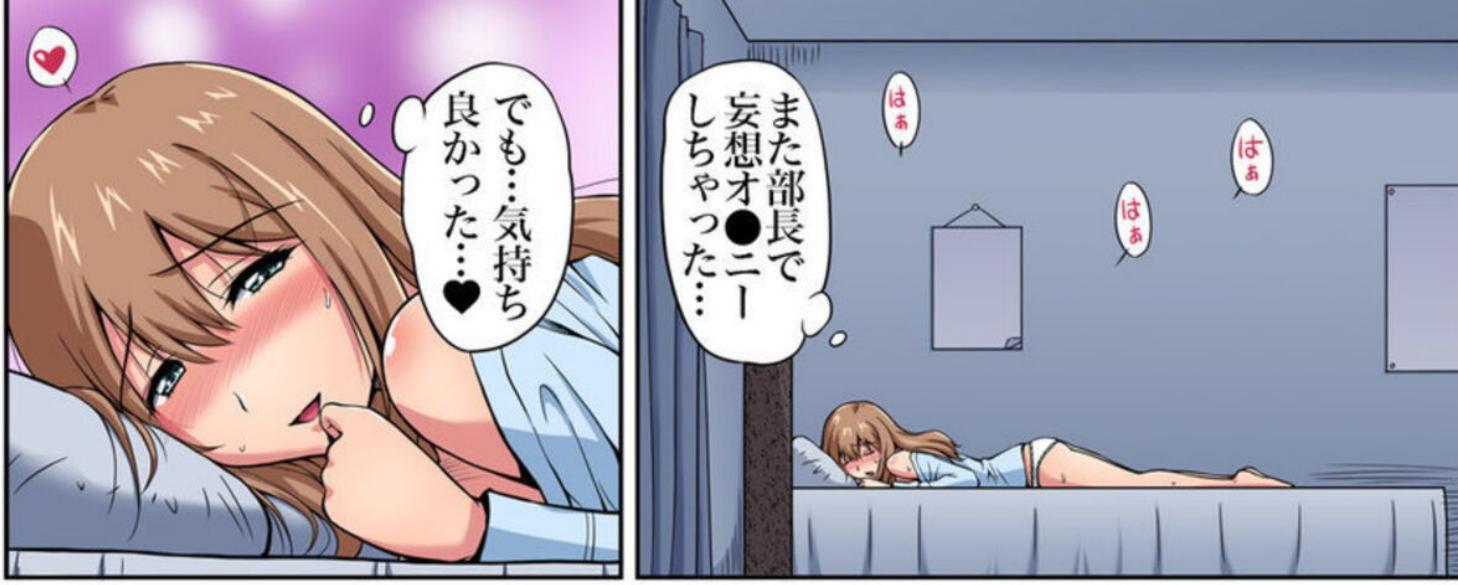
SUSPENSE EROS GAME & COMIC
GROUP H

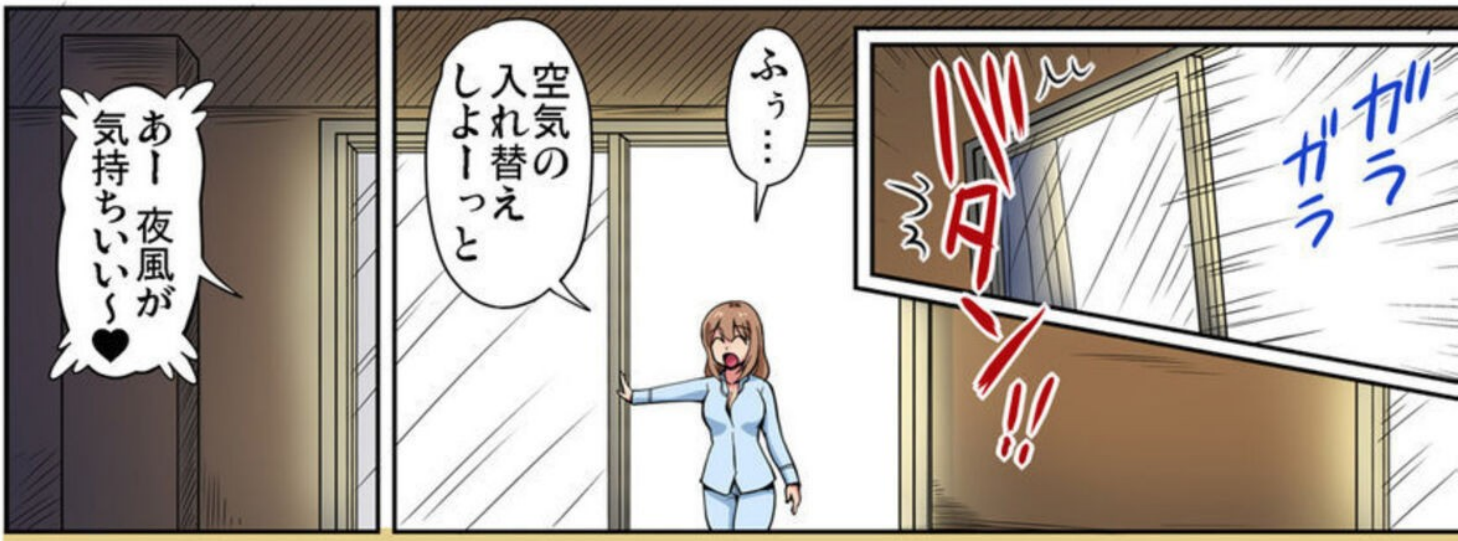

お隣さんは発情期
My neighbor is in the estrus period
2
揉まれて吸われてハメられて
ふぁんとむ


山口くんはいるか？
ちょっとこっちに来なさい！
君に頼んだこの書類間違いだらけじゃないか！
あの～部長…
お呼びでしょうか？
ひ～
部長ー
ごめんなさ～い…
君は入社して何年になる？
ガミガミ
あと君には他にも前から言いたいことが…
ああ…またやっちゃった…

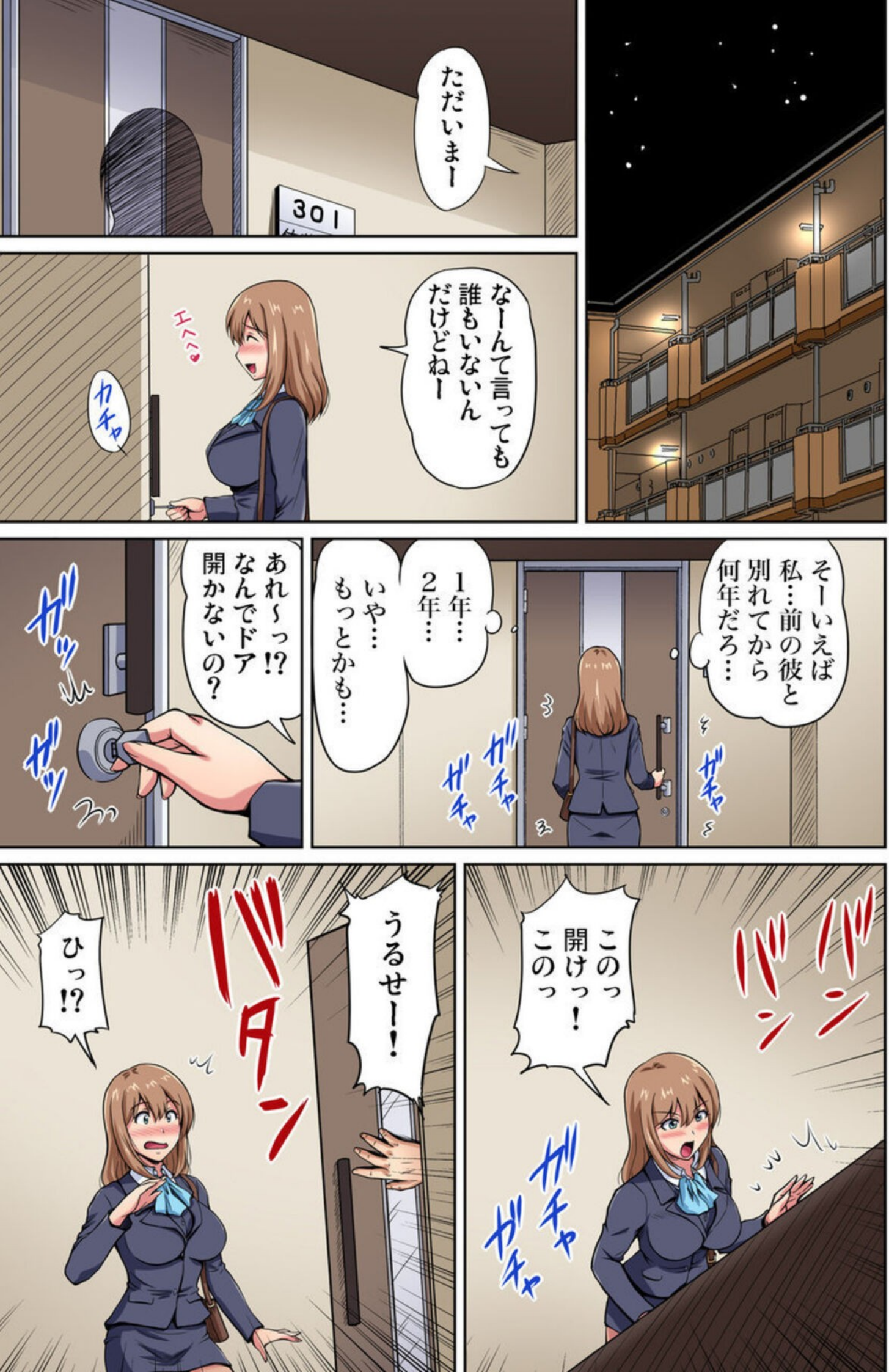

私…山口美希には人には言えない趣味があります
はぁ
はぁ
はぁ
それは…
にちゅ
にちゅ
あっ
あぁっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
部長に叱られて帰った日は必ずオ●ニーしちゃうんです
とんっ
ああっ部長っごめんなさい
だ…ダメ～っ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ぴくっ
ぴくっ
はぁ
はぁ
き…気持ちいい♥♥♥
ビクッ
ビクッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
あぁん♥
なぜかすごく興奮しちゃうんです

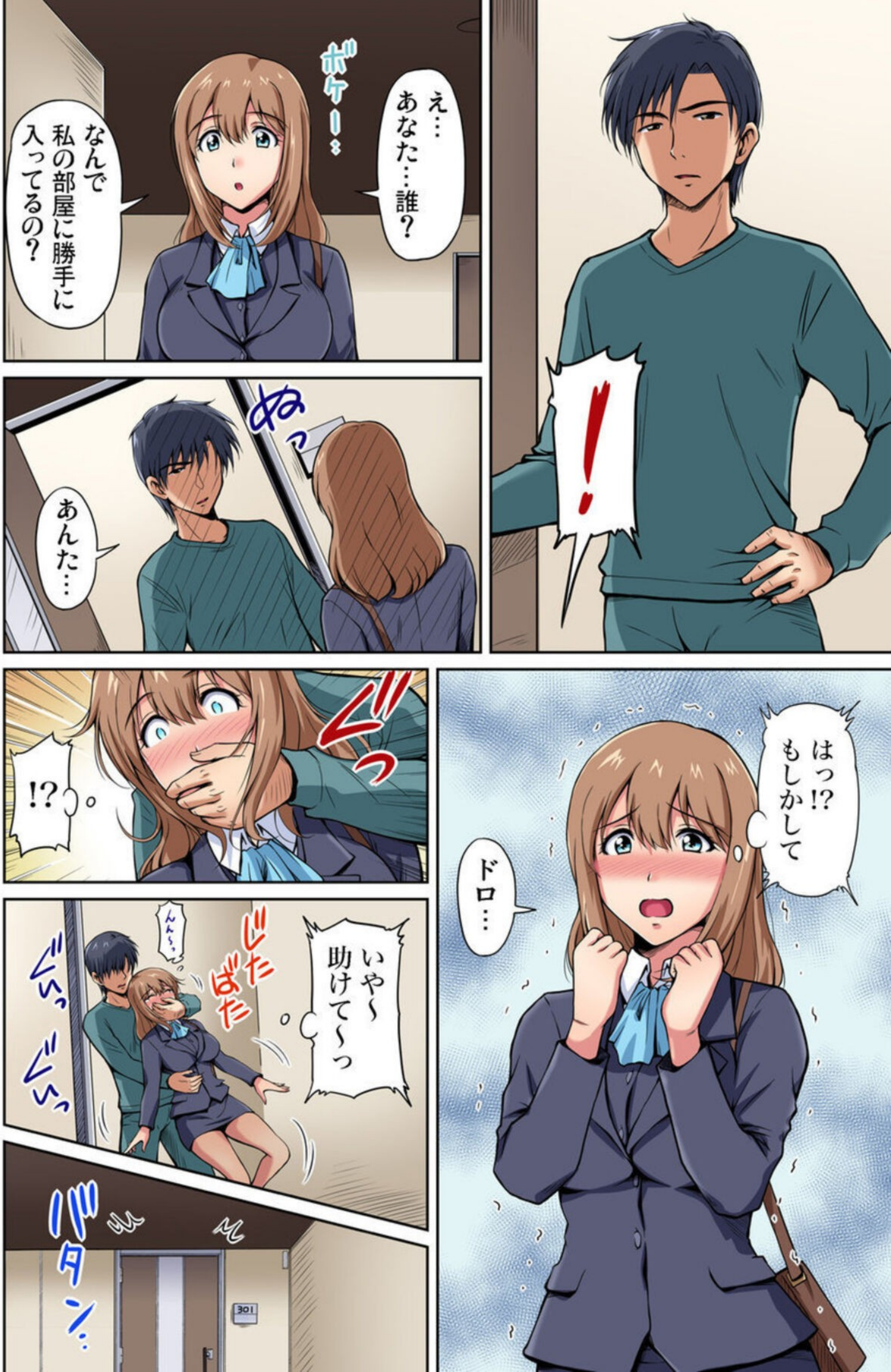

時には部長に犯される妄想なんかもしちゃいます…
君はホントにダメな部下だな
あっ
あっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
部長…ごめんなさい
あぁ…
パン
パン
パン
君みたいなダメな部下にはお仕置きが必要だな
ああっ！そんなことされたら…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
イク――っ♥♥♥
はぁ
はぁ
はぁ
ビクッ
ぎゅ～っ!!
びゅっ
びゅっ


はぁ
はぁ
はぁ
また部長で妄想オ●ニーしちゃった…
でも…気持ち良かった…♥

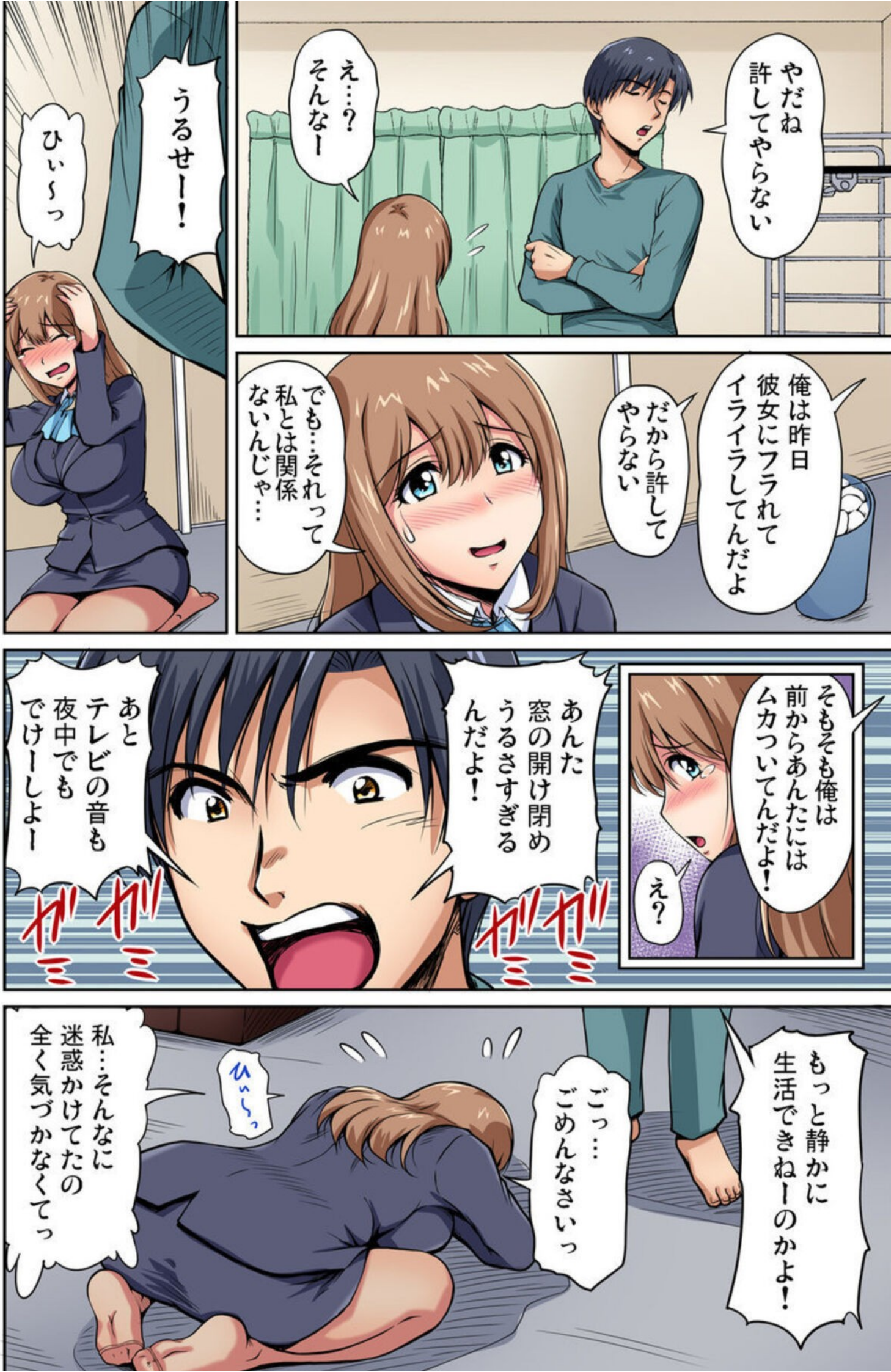

ガラガラ
バターン!!
ふぅ…
空気の入れ替えしよーっと
あー 夜風が気持ちいい~♥


次の週末
うふっ♥
今週はめずらしく仕事でミスが無かったわ
しかも帰りに同僚のカナ子にお酒もおごってもらったし…
ポ~
今日は気分がいいわ~!!
ニャ~


ただいまー
301
なーんて言っても誰もいないんだけどねー
エヘヘ♥
カチャ
そーいえば私…前の彼と別れてから何年だろ…
ガチャ
ガチャ
ガチャ
1年…2年…いや…もっとかも…
あれ～っ!?なんでドアが開かないの?
ガッ
ガッ
ガッ
このっ開けっ!このっ
バン
バン
ガチャ
ガチャ
うるせー!
バタン
ひっ!?


え…
あなた…誰？
ボケー×
なんで
私の部屋に勝手に
入ってるの？
！
ぬっ
あんた…
はっ!?
もしかして
ドロ…
ぐっ
!?
いや～
助けて～っ
んん～っ
ばたばた
ぐいっ
ぐいっ
301
バタン


ら…乱暴は…
やめてください…
ビク
ビク
あんた隣の
山口さんだろ？
俺を
よく見ろ
隣の佐藤だよ
え…!?
なんで
佐藤さんが
私の部屋に？
ったく
あんたの部屋は
隣だろっ!!
ええっ!?
ホントだ…
私の部屋じゃ
ない…
あんた
さっき俺のこと
ドロボーって
叫ぼうとしただろ？
だから急いで部屋に
連れ込んだんだよ！
ひ——
重ね重ね
申し訳ありませーん
すみませーん
許してくださーい
ペコペコ


やだね
許してやらない
え…？
そんなー
うるせー！
ひぃ～っ
俺は昨日
彼女にフラれて
イライラしてんだよ
だから許して
やらない
でも…それって
私とは関係
ないんじゃ…
そもそも俺は
前からあんたには
ムカついてんだよ！
え？
あんた
窓の開け閉め
うるさすぎる
んだよ！
あと
テレビの音も
夜中でも
でけーしよー
ガリガリ
もっと静かに
生活できねーのかよ！
ごっ…
ごめんなさいっ
ひぃ～っ
私…そんなに
迷惑かけてたの
全く気づかなくてっ


あんた…
ウザイんだよ
ごめん…
なさい
ん…
ちょっと
言いすぎたか？
はぁ
はぁ
あの…
？
もっと…
叱ってくれませんか？
あへ♥
あへ♥
この人の叱り方…
サイコー♥
はぁ？
あんた頭
大丈夫か？
酒
飲みすぎだ
バカ


お…
お願いですから…
はぁ
はぁ
もっと叱って
イジメてください♥
とろ～ん♥
なんでも
しますからー♥
ね～
はぁ♥
はぁ♥
おまえ
気持ちわりーよ
フリ
フリ
そーだ
ぽいっ
じゃあ
おまえにコレ
やるよ
？
それに着替えて
こられたら
考えてやっても
いいぜ
あ
着替えるのは
自分の部屋で
しろよな
あの～…
ずん
ずん
ずん
じゃあな
301
あんっ
バタン
ふぅ…
アレ見れば
隣のバカ女も
酔いが覚めるだろ


数分後——
ピンポ～ン
ガチャ
あ
山口さんでしょ
さっきの服
返しに
来たのなら
いらないよ
勝手に
捨てて
いいから
あの…
着替えて
きました…
え…
！
うそ…だろ
と…
とりあえず
中…入れよ

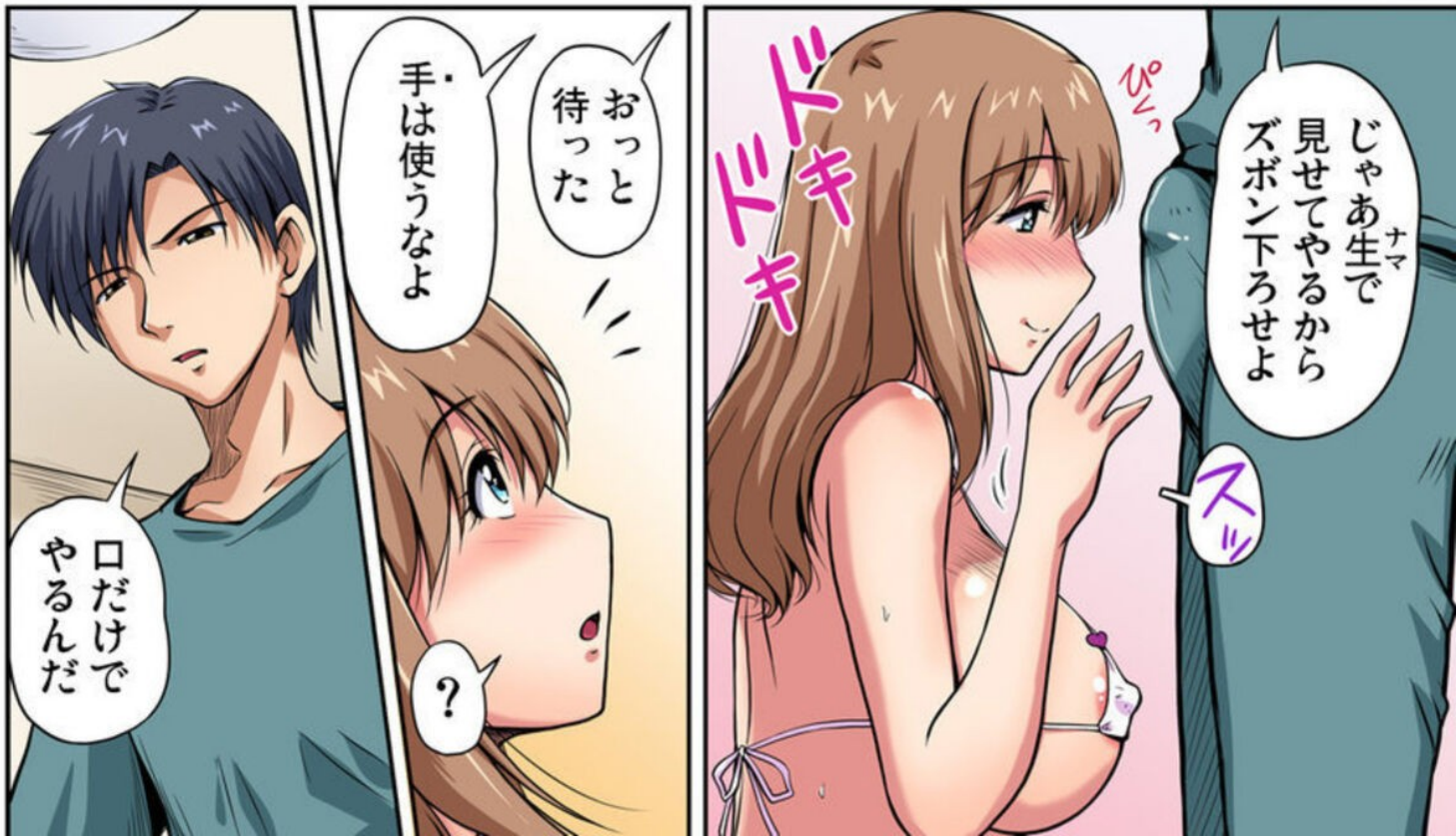

マジかよ…
それ着せようとして昨日彼女にフラれたんだぞ…
……♥
うぅ…すげーエロい
ハダカ裸同然じゃねーか！
えーと…
次は…なにをすればいいですか？
もじ♥もじ♥


ん…？ちょっと脚広げてみろよ
……っ
はい…
すうっ
なんだおまえ…感じてるのか？
とろ～♥
ぶるぶるぶるぶる


あっ!?
ぐちゅ
こんな濡らして…おまえドMかよ？
あっ
あっ
ち…違いますっ
じゅぷじゅぷじゅぷ
ただ…私…叱られるとこうなっちゃうんです…
ハァハァ
そういうのをドMって言うんだよ！
あぁっダメっ
激しくしないでっ
ぐちゅぐちゅぐちゅ


ははっ
おまえ見てたら俺まで興奮してきちゃったぜ
あ…
ビンビンビン
すごい…こんなに…
びんっびんっ
ペたん
ビンビンビン


どうした？勃起ち●ぽ見るの久しぶりか？
もじもじ
はい…


じゃあ生(ナマ)で見せてやるからズボン下ろせよ
ぴくっ
ドキドキ
スッ
おっと待った
手は使うなよ
？
口だけでやるんだ


トランクスも下ろせよ…
はい
できました♥
ずりっ
ん
ん
ずりっ
はぁ
はぁ
はぁ


ほらっ久しぶりのち●ぽだぞうれしいだろ
あぁンッ
ぺちん
ぺちん
ぺちん


え…？
ぐいっ


こんなことされたら……
ますます気持ち良くなっちゃう…♥
…あっ…ダメっ！
ぺちん
ぺちん
ぺちん
はぁ
はぁ…
くちゅ
くちゅ
くちゅ

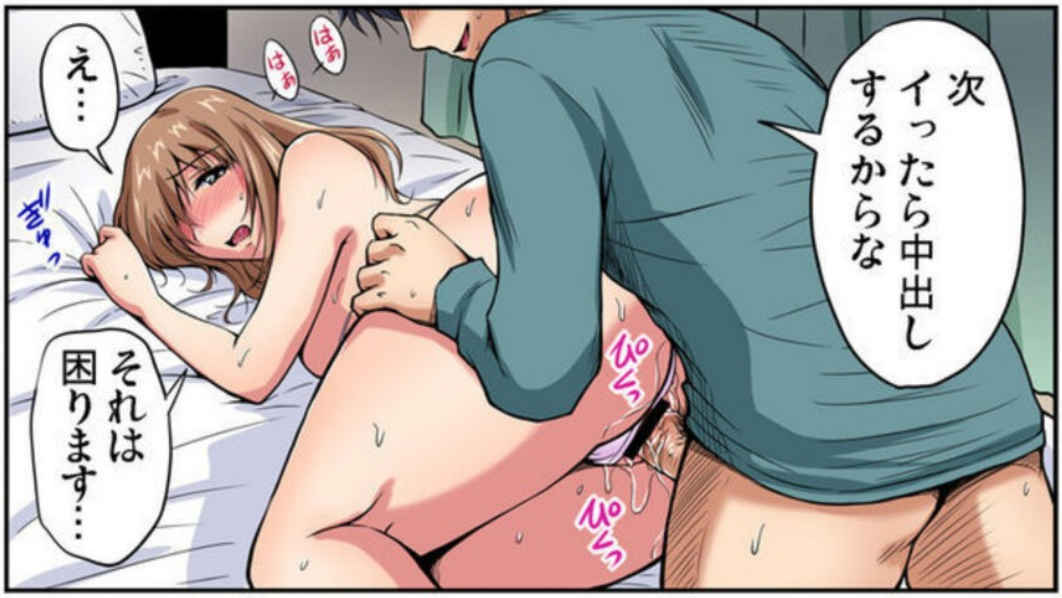

もっと顔突き出せよドM女
俺にイジメてもらいたいんだろ？
やだ…私…
ぺち
ぺち
ぺち
ハァ
ハァ
もぞ
もぞ


イクぅ～～～ッ❤❤
ビクっ
ビクっ
ビクっ
ビクっ
ビクっ
…ん？
どうした？
なんでも…
ありません…
ハァ
ハァ
おまえ
こんなので
イったのか？
ち●ぽで
顔たたかれて
イク女なんて
初めて見たぜ
じゃあ
もっとイジメて
やるよ！
ハァ
ハァ
ビクっ
あ
ぴくっ
ぴくっ
ズブッ
！
く…
苦しいのに…
ズブッ
ズブッ
ズブッ
んんっ
ん
ん
ん
すごくいい❤❤
ビクっ
ビクっ
ビクっ


うっ…
出すから
全部飲めよ
どぴゅっ
んん～!!
すごい量…
びくっ
んぐっ
んぐっ
んっ
どぴゅ
どぴゅ
どぴゅ
よし
口開けて
見せてみな
はぁ
はぁ
あーん♥
よし…この
大きくなった
ち●ぽ
次は
どうして
ほしい？
ちゃぱ
ちゃぱ
ちゃぱ
カチ
カチ
カチ
ドMな
美希を…
ハァ？
ハァ？
もっと
お仕置きして
ください…♥
よーし だったらその
だだ漏れマ●コに
ぶっ挿してやるよ！
がばっ
びちゃ
びちゃ


ほらっ 尻を突き上げろ！
ズプッ
あぁっ
あぁ♥
あ♥
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ったく…
お仕置きだってのにあえぎ声出してんじゃねーよ！
ごめんなさい…
パン
パン
パン
パン
乳首もこんなに勃起させて…
クリっ
クリっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ク●もビンビンじゃねーか！
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ひぃっ
ごめんなさいっ
ごめんなさいっ


あぁっ
おいバカ女っ勝手にイってんじゃねーよ
ま●こ締まるからバレバレなんだよ！
すみません…気持ち良すぎて…我慢…できませんでした
ああああっ
ギチッ
ギチッ
ギチッ
ぴくっ
ぴくっ
あ
あ
あ


次イったら中出しするからな
え…
それは困ります…
ぴくっ
ぴくっ
はぁ
はぁ


特に…今日は…
ハァ
ハァ


大丈夫だって
ぐいっ
おまえがイカなきゃいいんだから
ごろんっ
そんな…


ずぷっ
！
俊介さん…深いっ


やぁっ
すぽっ
すぽっ
すぽっ
すぽっ
さっきよりも
激しい…っ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
あぁっ
っあっ


おい
淫乱ドM女っ
また
お●んこが
締まってきてるぞ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ああ…
ダメなのに…
また
イキ…そう…


でも…
お仕置きで
中出しされたら…
私どうなっちゃうん
だろう……♥
ぴくんっ
ぴくんっ
はぁ
はぁ
パン
パン
パン
パン
パン
想像すると
ドキドキ
しちゃう♥
あ♥
あ♥
あ♥


イク――っ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぎゅっ
ぎゅっ
はい
中出し
決定～
ぴ～
ぴ～
あっ
待って
！
あぁっ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ヤダっ…
私…中出し
されてるのに
ビュッ
ビュッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
またイクぅ～～♥♥♥
ぶるんっ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
いやァーっ
本当に出てるー


はぁ
ひく
ひく
ひく…
はぁ
こんなの
はじめて…♥
はぁ
おい
休んでんじゃ
ないよ
？
おまえ今
2回続けて
イっただろ
はい
俊介さま♥
だから
お仕置きで
もう一発 中出し
してやるから
また俺のを
大きくしろ


301
佐藤俊介
い…イクッ
またイっちゃいます♥
ぎちっ
どぴゅ
このドMのメス豚女がっ
またイキやがって
…ったく
メス豚って言われるたびにイクようになってんじゃないよ
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
あ
あ
ごめんなさい…
また…イキ…ます
いいっ♥
あぁ♥
ごぷっ
ごぷっ
ハァ
ハァ
とろ～…
その晩 私は俊介さんにお仕置き(中出し)され続け…
あへっ♥
あへ♥
あへ♥
お仕置き中出しセックス気持ちいいよ～♥♥
気がつくと朝になっていました


その後——
私は相変わらず仕事では失敗続きなんですが…
山口くん！ ちょっと来なさい
また君はこんな間違いをして！
ガミガミ
部長～っすみませんでした～
君はミスが多すぎるぞ
あと謝る時は申し訳ありませんと言いなさい！
はいっ
はいっ
ハイは一回でよろしい
もぅ～またミスしたのぬ…
毎晩…俊介さんの調教のおかげで…
ガクガク
とろ～…
こんなトコでも興奮するようになっちゃいました♥
会社
ハァ♥
ハァ♥
部長～もうひわけ…ありませんでひた～♥♥♥
ドキ♥ドキ♥ドキ♥

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。

本作品の無断転載・複製を禁止します。

SUSPENSE EROS GAME & COMIC
GROUP H